

インターバンクの声（2016年2月5日）

ドル円が日銀のマイナス金利導入から一週間も経たないうちに5円も円高が進んでいる。先週1月29日の昼過ぎ、金融政策決定会合のマイナス金利導入の決定を受け、121円70銭近くまで円が売られたものの、あっという間に発表前の水準どころか、今年1月20-21日につけた116円前後の水準に迫るところまで近づいて来た。116円前後の水準を下抜け、昨年1月につけた115円後半の水準を割り込めば、次の目標は一昨年10月の108円台になりそうだ。先週、日銀のマイナス金利が導入された後は、「暫くは円高への圧力も当面回避」、「改めて125円や130円方向への円安に」などの予想が広がったが、今は大多数のアナリスト、ストラテジストの予想が円高だ。中には自分の予想が間違えれば、謙虚に何が間違っていたかを丁寧に解説、説明責任を果たすような好感の持てるアナリスト、ストラテジスト諸氏もいるが、都合が悪い時は雲隠れしてメディアへの露出頻度も激減、思い通りの相場展開になってくれば、待ってましたとばかり自説を繰り返す。ディーラーは成績が悪ければ解雇もよくあり、次の機会がないこともある。それでも、逆にこういう相場展開になると意地を張りたくなる。115円台ではドルを買うつもりだが、4月以降、紙面上でお会い出来なくなれば御免なさい。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。